

## 拠点

### 拠点3 嬉泉福祉交流センター 袖ヶ浦

#### 1. 事業概況(運営方針・目標の実施状況)

##### 1) 拠点全体

前年度に引き続き、袖ヶ浦統括施設長の下、各事業のきめ細かな管理運営体制を実施するために配置した場長補佐並びに各施設長の働きにより、年度末の離職者は減少した。しかし部署によっては比率として離職者の多いところもあり、さらに職員の定着課題に取り組んでいく必要性が認められる。

「嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦10カ年戦略」の年次計画として、本年度の実施状況は、引き続きひかりの本体の増改築に向けての検討を行い、並行して資金計画を策定して工事の実施に向けた準備を行った。また、10カ年戦略そのものの見直しを行い、年度の後半に改訂版 (Ver. 1.5) を策定した (後記)。

津久井やまゆり園の痛ましい事件により、施設の防犯設備の整備に補助金が交付されたので、それを受けて「嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦」施設防犯緊急対策整備事業として、のびろ学園、ひかりの学園、グループホーム春のひかりにそれぞれ、防犯カメラ及び防犯灯等を設置した。

##### 2) 袖ヶ浦のびろ学園

袖ヶ浦のびろ学園は、年度内の新入園児は5名で、都内から2名、千葉県から3名と本年度も千葉県からの入所が若干多かった。年間を通しての退園児は、加齢児1名と高等部5名で合計6名であった。残る1名の加齢児の成人施設への移行が課題となっていたが年度早期に移行することができ学園全ての加齢児の移行が完了し、加齢児の在籍は0人となった。国が当初示していたみなし期間中(平成30年3月まで)に加齢児全員の移行を終えることができた。そのため、みなし事業として指定をうけていた生活介護、施設入所支援の事業については29年度末をもって事業廃止とした。高等部を卒業した5名は障害者支援施設、グループホームへ移行した。入所ニーズは、行動障害に対する対応、社会的養護を要する傾向の児童の入所が主であった。都と協議していた定員削減を5月より10人の削減を行い定員40名で運営を行った。設備においては空調等のインフラについては耐用年数が経過したため新規設備の設置を行った。

##### 3) 袖ヶ浦ひかりの学園・グループホーム春のひかり

利用者の高齢化に伴う施設整備が大きな課題であり、昨年度より改築のための検討委員会を立ち上げ、検討を重ねた結果、30年度に着工へと進める見通しとなった。また、地域からの利用ニーズが引き続きあり、本年度も通所グループの利用者が増えた。このようなニーズはまだ増えていくことが予想されること、同様に短期入所の利用希望が増加しており、そのニーズに応えられていないため、増築の際に地域支援棟も新たに建設することとなった。

利用者の高齢化による疾病は年々増えており、通院もほぼ毎日行っているような状態であった。体調不良については本人からの訴えはほとんどなく、支援員の観察力により察知するところが多い。そのための支援員の育成は大きな課題となっているが、今年度については退職者が少なく、次年度に向けての積み重ねが出来るように思われる。職員の育成計画や職場環境の改善などが功をなしたのかもしれないが、離職率を低下するような取り組みは、学園内で行うだけでなく、事業所全体で取り組んでいく必要性を強く感じた。

##### 4) 地域生活支援センターたのしみ

障害児通所事業は、放課後デイサービス・ウサギを本年度より定員を増員し、1日あた

り 20 名で利用者を受け入れた。また、小学生を対象としていたが中高生を受け入れることによりトータルサポートの体制が実現した。児童発達支援センターヒツジでは、専門職による（言語聴覚士及び臨床心理士）を実施することにより療育の幅がひろがった。また、袖ヶ浦市や木更津市の幼稚園や保育園に巡回指導を実施し対応が難しい児童への対応を幼稚園教諭や保育士に助言・指導を行った。袖ヶ浦市においては保育所に通う全年長児を対象に言語発達検査を実施し就学前に適切なサポート受けられるようになり袖ヶ浦市での子育てサポートの一環を担うことができるようになった。

相談支援事業においては、引き続き、計画相談支援の実施と、袖ヶ浦市障害者相談支援事業所に相談員を派遣し、事業に参画した。

地域の社会資源や、拠点の施設等と連携を図りながら、地域の困難ケースの対応にも継続して取り組んだ。

#### 5) 袖ヶ浦市福祉作業所うぐいす園

以来3年が経過し、利用者並びに保護者から一定の理解は得られてきているように思われる。生活介護事業の利用者は、年々増加しており、おそらく次年度には利用率は8割を超えるまでになると思われるが、就労継続支援B型の利用率がほとんど増加していない。理由としては保護者が高齢となり家庭での生活が継続できなくなり退所したことや、利用者自身が高齢となり、生活介護事業への変更を行ったことなどである。このような状況の変化による利用の変更は引き続き起こる事であると予想される。そのためにも、就労継続支援B型の利用率を上げるような方策を早急に、かつ具体的に検討していく必要性を強く感じている。

### 2. 年間行事等実施状況

※別紙1「年間行事等実施状況」参照

### 3. 職員体制

※別紙2「組織図」参照

### 4. 職員研修

#### 1)方針（再掲）

流動する福祉情勢の中で、自閉症の人たちへの福祉援助における積極的な情報収集と、支援および施設運営の再構築が求められており、中でも職員の人材育成の重要性が更に増してきている。併せて発達障害者全般にわたる援助技術の習得と研鑽が求められていることから、今後の利用ニーズの変化への対応と職員の養成になお一層努める。また、「職員個別研修計画」の内容を見直し、個人の目標が明確になるよう記入箇所を簡略化し「今年度の目標」と題してダイレクトに個々の研修課題や目標を研修へ反映しやすいよう工夫し、職員の個別的な取り組みをさらに強化する。

#### 2)事業所内研修

①受容的交流理論に基づく対人援助の知識や技術を高める(法人全体研修への参加)

- ・夏季療育合宿(8/19～21) への参加・・・参加支援員 2 名、研修係 2 名
- ・冬季療育合宿(12/23～25) への参加・・・参加支援員 2 名、研修係 1 名
- ・法人職員全体研修(3/18) への参加・・・72 名

②今年度の目標を策定し、計画的・効果的研修の実施に努める

今年度の目標（いわゆる職員個別研修計画）については、今年度より法人におけるキャリアパスの作成、整理が開始されたため、それらが完成した後、研修係で改めて各等級において必要な研修を見直し、振り分けての実施することとした。そのため今年度は各園長、マネージャー、指導主任で適性を検討し、参加する研修を決定した。

新人職員には主としてサブリーダー以上の役職に就く職員がチューターとして1年間

付き、新人の育成に取り組んだ。

③心のケア(抱っこ法)研修を通して感性や援助技術の向上に努める

新人研修を6回実施(5/23、7/18、9/26、11/28、1/30、3/13)

・・・直接支援員新人全8名、抱っこ法担当者2名参加

④全体研修係、各委員会主催の研修の実施

・ケース研究発表会を5回実施(6/6、7/18、8/8、10/31、12/12)

・全体研修会を4回実施(5/12、8/4、10/12、2/9)

・指導主任、サビ管以上の職員によるエピソード記述研究会を、6月、8月、11月の3回実施。

⑤各職種に必要となる知識を高める

・千葉県知的障害者福祉協会児童部会学習会に派遣・・・支援員2名

・千葉県知的障害者福祉協会障害者支援スタッフ部会に派遣・・・支援員2

3)外部研修

出張・研修名	主催	参加人数	日時	開催地
障害児入所支援の質の向上を検証するための研究	心身障害児総合医療センター 北住	2名	5月7日(日)	東京八重洲ホール
平成29年度千葉県知的障害者福祉協会 定期総会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	5月16日(火)	ホテルグリーンタワー幕張
清瀬育成園 ひだまりの里 きよせ 落成式	清瀬育成園 ひだまりの里	1名	4月21日(金)	清瀬育成園 ひだまりの里
言語発達遅滞検査講習会	言語発達障害研究会事務所	1名	7月14日(金) 7月15日(土)	国立オリンピック記念青少年総合センター
はじめて社会福祉を学ぶ福祉職員のためのスタートアップ研修	東京都社会福祉協議会	1名	6月6、19、27日	東京都社会福祉保健医療研修センター
てんかん基礎講座	日本てんかん協会	1名	7月20日(木) 7月21日(金)	よみうりホール
H29年度全国知的障害関係施設長等会議	日本知的障害者福祉協会	5名	7月4日(火) 7月5日(水)	東京国際フォーラム
袖ヶ浦市福祉施設等連絡協議会 第一回総会・懇親会	袖ヶ浦市福祉施設等連絡協議会	5名	5月29日(月)	袖ヶ浦市社会福祉センター
知的発達障害部会・通所施設分科会 全体会	東京都社会福祉協議会	1名	6月1日(木)	研究社英語センター
栄養ケアマネジメント	東京都社会福祉協議会	1名	6月10日(土)	飯田橋セントラルプラザ12階
知的発達障害部会児童施設分科会 第1回定例会	東京都社会福祉協議会	1名	6月22日(木)	飯田橋セントラルプラザ12階
千葉県知的障害者福祉協会 第1回調査研究委員会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	7月6日(木)	社会福祉法人槇の里

				いすみ学園 (いすみ市)
防火管理新規講習	財団法人 日本防火・防災協会	1名	7月20日(木) 7月21日(金)	袖ヶ浦市民会館
相談支援従事者指導者養成研修	千葉県健康福祉部 障害福祉課	1名	6月21日(水) ～6月23日(金)	国立障害者リハビリテーションセンター
発達障害支援者スーパーバイザー養成研修	日本財団	2名	7/25～27	日本財団大会議室 他
給食施設管理者・従事者研修会	千葉県君津健康福祉センター	2名	6月6日(火)	木更津市民総合福祉会館
社会福祉施設長資格認定講習課程	全国社会福祉協議会	1名	12月12日(火) ～12月16日(土)	中央福祉学院
強度行動障害支援者養成研修：基礎研修(1回目)	生活サポート千葉	3名	6月23日(金) 6月27日(火)	ふる里学舎 しぜん工房
設置者・管理者会および平成29年度総会	君津圏域障害者グループホーム等連絡協議会	1名	6月9日(金)	君津健康福祉センター
H29年度相談従事者指導者養成研修	厚生労働省社会・擁護局	1名	6月21日(水)～6月23日(金)	国立障害者リハビリテーションセンター学院[埼玉]
知的発達部会 施設体験研修(小平福祉園)	東京都社会福祉協議会	1名	7月27日(木) 7月28日(金)	小平福祉園
第48回関東地区知的障害福祉関係職員研究大会	日本知的障害者福祉協会	3名	7月13日(木)	東京ベイ幕張ホール
新任職員研修会(新卒)	日本知的障害者福祉協会	1名	7月24日(月) ～7月25日(火)	鴨川グランドホテル
千葉県相談支援従事者初任者研修	千葉県健康福祉部	2名	8月17日(木) 8月18日(金)	千葉市民会館
強度行動障害支援アドバンス研修 プレ研修会	東京都社会福祉協議会	2名	7月20日(木)	飯田橋セントラルプラザ12階
GHサービス管理責任者会(研修会)	君津圏域障害者グループホーム等連絡協議会	1名	7月14日(金)	君津健康福祉センター
袖ヶ浦市福祉施設等連絡協議会 定例会・懇親会	袖ヶ浦市福祉施設等連絡協議会	5名	7月28日(金)	袖ヶ浦市社会福祉センター
社会福祉施設における食中毒・感染症対策研修	千葉県健康福祉部	1名	9月8日(金)	千葉市民会館
内部構築の進め方と外部監査の上手な活用法セミナー	日本コンサルティング(株)	1名	8月9日(水)	銀座COMビル7階
強度行動障害支援者養成研修：基礎研修(2回目)	生活サポート千葉	4名	8月25日(金) 8月31日(木)	ふる里学舎 しぜん工房
福祉施設経営基礎研修～経営初級課程～	東京都社会福祉協議会	1名	8月23日(水) 8月24日(木)	東京都社会福祉保健医療研修セン

				ター
リーダーを支える部下力養成講座	日本経営	1名	11月8日(水)	天王洲郵船ビル22F
中堅職員重点テーマ強化研修 第1回	東京都社会福祉協議会	2名	9月20日(水) 9月21日(木)	東京都社会福祉保健医療研修センター
サービス管理責任者研修	千葉県健康福祉部	1名	12月13日(水) 12月14日(木)	千葉県教育会館
サービス管理責任者研修	千葉県健康福祉部	1名	11月1日(水) 11月13日(月) 11月15日(水)	千葉市民会館 千葉県教育会館
サービス管理責任者研修	千葉県健康福祉部	1名	11月1日(水) 12月13日(水) 12月14日(木)	千葉市民会館 千葉県教育会館
強度行動障害支援者養成研修：基礎研修	千葉県ホームヘルパー協議会	3名	10月14日(土) 10月22日(日)	千葉県社会福祉センター
労働基準法に関する基礎研修会	東京都社会福祉協議会	2名	10月25日(水)	国立オリンピック記念青少年総合センター
法人設立65周年、おしまコロニー50周年 祝賀会	社会福祉法人 侑愛会	1名	10月21日(土)	ホテル函館ロイヤル
強度行動障害支援者養成研修：実践研修	千葉県ホームヘルパー協議会	3名	11月25日(土) 12月2日(土)	千葉県社会福祉センター
袖ヶ浦市福祉施設等連絡協議会 定例会・懇親会	袖ヶ浦市福祉施設等連絡協議会	5名	9月29日(金)	袖ヶ浦市民会館中ホール
長期療養児療育支援事業におけるアレルギー講演会	千葉県君津健康福祉センター	1名	9月25日(月)	千葉県君津健康福祉センター
第41回日本神経心理学会学術集会	日本神経心理学会	1名	10月12日(木) 10月13日(金)	日本神経心理学会 一ツ橋講堂
感染症対策研修会	君津健康福祉センター	1名	10月3日(火)	君津健康福祉センター
強度行動障害支援者養成研修：基礎研修(3回目)	生活サポート千葉	3名	12月1日(金) 12月6日(水)	京葉銀行プラザホール ふるさと学舎
児童施設部会 一泊研修	袖ヶ浦市福祉センター養育園	1名	10月17日(火) ～18日(水)	滝乃川学園 他

給食研修会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	10月18日(水)	社会福祉法人久保学園
中堅職員重点テーマ強化研修 第3回	東京都社会福祉協議会	1名	10月11日(水) 10月12日(木)	東京都社会福祉保健医療研修センター
第58回日本児童青年精神医学会総会	日本児童青年精神医学会	1名	10月5日(木) ～7日(土)	奈良春日野国際フォーラム薨
リハビリテーション看護研修会 知的・発達障害コース	国立リハビリテーションセンター学院	2名	10月31日(火) ～11月2日(木)	国立障害者リハビリテーションセンター(埼玉)
第31回 全日本自閉症支援者協会 研究大会(新潟)	全日本自閉症支援者協会	6名	11月1日(水) ～2日(木)	ANAクラウンプラザホテル新潟
関東地区知的障害関係施設種別代表者会議 東京大会	関東地区知的障害者福祉協会	1名	10月26日(木) ～27日(金)	立川グランドホテル
給食施設管理者研修会	千葉県君津健康福祉センター	1名	10月17日(火)	千葉県君津健康福祉センター
2017年度社会福祉士実習指導者講習会	千葉県社会福祉士会	1名	11月13日(月) ～14日(火)	ホテルリブマックス千葉美浜
日本高次脳機能障害学会学術総会	日本高次脳機能障害学会学術総会	1名	12月15日(金) ～16日(土)	大宮ソニックスシティ
福祉型障害児入所施設職員と児童相談所職員との連絡会議	千葉市児童相談所	1名	H30 年2月2日(金)	千葉市児童相談所
支援スタッフ部会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	11月17日(金)	千葉県総合スポーツセンター
強度行動障害支援指導者養成研修(アドバンス研修)	東京都社会福祉協議会	2名	11月24日(金)	飯田橋レインボービル
千葉県知的障害者福祉協会第3回広報委員会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	12月1日(金)	ふる里学舎

第14回 自立支援セミナー 2018 これからの社会、これからの障害者支援	千葉県知的障害者福祉協会	1名	2月3日(土)	千葉市民会館
サポート研(全国障害者生活支援研究会) 東京セミナー2017	サポート研(全国障害者生活支援研究会)	1名	12月16日(土)	大田区立大田福祉作業所
だれもが住みやすい街づくりフォーラム共生社会をめざして	だれもが住みやすい街づくりフォーラム	1名	1月19日(金)	千葉市ハーモニープラザ
支援スタッフ部会研修会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	1月11日(木)	市原市民会館
千葉県障害児等療育支援事業に係る事業者募集説明会	千葉県健康福祉部	1名	1月25日(木)	千葉県教育会館
精神障害者地域生活支援事業所等研修会	千葉県精神保健福祉センター	1名	2月15日(水)	千葉市ビジネス支援センター
世話人会・サービス管理責任者研修会	君津圏域障害者グループホーム等連絡協議会	1名	1月29日(月)	君津健康福祉センター
福祉事業者における権利擁護・苦情対応研修	東京都社会福祉協議会	1名	2月16日(金)	東京都社会福祉保健医療研修センター
全国障害者生活支援研究セミナー	サポート研(全国障害者生活支援研究会)	1名	2月17日(土) 2月18日(日)	新宿NSビル
強度行動障害支援者アドバンス研修	東京都社会福祉協議会	2名	1月18日(木)	研究社英語センター
知的発達生涯部会 当事者の方々との対話	東京都社会福祉協議会	4名	2月17日(土)	葛飾通勤寮
監事説明会 フォローアップ編	東京都福祉保健局	1名	2月5日(月)	小平市民文化会館
監事説明会 フォローアップ編	東京都福祉保健局	1名	2月22日(木)	小平市民文化会館
相談支援研修全県大会	千葉県相談支援事業連絡協議会	2名	2月17日(土)	千葉市男女共同参画センターイベ

				ントホール
強度行動障害支援者養成研修（実践）	サポート千葉	2名	2月26日（月） 2月27日（火）	千葉県教育会館
中核地域生活支援センター事業君津圏域連絡調整会議	千葉県君津健康福祉センター	1名	2月28日（水）	君津健康福祉センター
発達障害支援者スーパーバイザー養成研修 後期集合研修	日本財団	2名	3月13日（火） ～3月15日（木）	日本財団会議室
指定障害福祉サービス事業者に対する集団指導について	千葉県健康福祉部	2名	3月20日（火）	千葉市民会館

## 5. 実習生等の受入状況

### 1) 実習生の受入(総数：52名)

名 称	人数(人)
越谷保育専門学校	3
淑徳短期大学	2
横浜こども専門学校	2
東北福祉大学	1
東京リゾート&スポーツ専門学校	2
聖徳大学	2
白梅短期大学	3
十文字女子大学	4
立正大学	2
千葉明德短期大学	2
武蔵野大学	2
東洋大学	2
目白大学	2
東京福祉大学	4
東京家政大学	6
千葉敬愛短期大学	1
千葉経済大学	2
日本児童教育専門学校	4
東京都市大学	2
清和短期大学	4

### 2) 知的障害者関係施設及び学校からの研修生(総数：27名)

名 称	人数(人)
袖ヶ浦学園	2
岐阜県立巣松陽高等学校	1
室蘭言泉学園	1
ピッチーの丘	1
滝乃川学園	1
城山薫風	1
ぎふの森学園	1



高清水園	2
多摩藤倉学園	1
竹の塚福祉園	1
五乃神学園	1
養育園	6
水元そよかぜ園	1
八幡学園	3
槇の実特別支援学校	3
南六郷福祉園	1

3) 見学者の受入(総数：126名)

名 称	人数
短期入所希望者	9
入所希望者	3
施設見学者	9
日中一時	1
中国自閉症研究会	30
千葉県福祉事業団	4
足立区厚生委員	10
東村山福祉園	1
みずほ学園	2
不二学園	2
コスモス	8
すかい荘	2
東京都立しいの木特別支援学校	2
ふじ幼稚園	1
鹿本学園	2
希望の里	2
パサージュ 稲城	3
袖ヶ浦市社会福祉協議会主催 市内小・中・高生	16
淑徳大学教員、学生	19

4) ボランティアの受け入れ(総数：延べ40名)

活 動	所属等	人数(人)	頻度等(日)	区 分
夏祭り手伝い	—	15	1	しいの木特別支援学校
バザー	—	25	2	父母・学生・社会人

6. 福利厚生

①定期健康診断(年2回)

対 象：全職員(深夜勤に当たっていない者は年1回)

実 施：1回目 平成29年9月7日

2回目 平成30年2月6日(夜勤対象直接支援職員)

実施人数：1回目64名

2回目54名

場 所：学園内(ちば県民保健予防財団検診車)

検査項目：問診、診察、視力、聴力、血圧測定、胸部測定、ウロビリノーゲン測定、尿潜血測定、尿糖測定、尿蛋白測定、心電図、便潜血測定、肝機能測定、腎機能測定、脂質測定、炎症測定、貧血測定、糖尿病測定

備 考：生活習慣病予防検診の対象者は、1回をそれに含める。

②生活習慣病予防検診(年1回)

対 象：35歳以上の職員(希望者は30歳から)

実 施：平成29年9月12日 平成28年9月13日

実施人数：60名

場 所：学園内（ジェイコー千葉病院）

検査項目：問診、診察、視力、聴力、血圧測定、心電図、検便、検尿、血液検査〔貧血・生化学検査〕脂質、肝機能、胃部レントゲン、胸部レントゲン、身体測定（腹囲、BMI含む）、乳癌・子宮癌検査（希望者のみ）

備 考：日帰り人間ドックの対象者は、それに含める。

## 7. その他

「嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦」施設防犯緊急対策整備事業  
非常通報装・防犯カメラ設置等工事を実施した

- ・袖ヶ浦のびろ学園

総費用 34,236千円 （東京都補助金 22,178千円・自己負担金12,058千円）

- ・袖ヶ浦ひかの学園

総費用 34,776千円 （東京都補助金 25,762千円・自己負担金 9,014千円）

- ・グループホーム春のひかり

総費用 2,973千円 （千葉県補助金 2,308千円・自己負担金 665千円）

**1. 10カ年のアクションプラン※網掛けは一部改訂および新規項目**

- 1) 自閉症スペクトラムの多様なニーズへの対応
  - ①「はやて棟」の用途変更(ひかりの→のびろ) ※実施済み
  - ②のびろ大規模修繕 ※実施済み
  - ③のびろ支援員の研修(高機能、知的に軽度な発達障害への療育) ※継続中
  
- 2) 入所者の高齢化への対応
  - ④ひかりの本体(そだて)改修、増築 ※平成30年度実施予定
  - ⑤ひかりの利用者グループ再編
  - ⑥ひかりの支援員の研修(介護技術・メンタル・SV体制) ※継続中
  
- 3) 「切れ目のない」地域支援サービスの拡充
  - ⑦「児童発達支援センター」の整備(相談支援の併設) ※実施済み
  - ⑧のびろ利用定員の変更(50名→40名+短期併設10名) ※実施済み
  - ⑨ひかりの「地域支援棟」の整備 ※平成30年度実施予定
  - ⑩グループホームの移設及び増設
  - ⑪袖ヶ浦市福祉作業所の受託 ※実施済み
  - ⑫たのしみ中高生の放課後デイ実施 ※実施済み
  - ⑬袖ヶ浦市福祉作業所の指定管理更新
  - ⑭児童発達支援センターの機能拡充
  - ⑮地域生活支援センターたのしみの再編成
  - ⑯地域生活支援拠点の整備
  - ⑰ひかりの学園短期入所の定員拡大
  - ⑱のびろ学園短期入所棟の整備

**2. 自閉症スペクトラムの多様なニーズへの対応**

- 1) ~~「はやて棟」の用途変更(ひかりの→のびろ) ※実施済み~~
  
- 2) ~~のびろ大規模修繕 ※実施済み~~
  
- 3) のびろ支援員の研修(高機能、知的に軽度な発達障害への療育) ※継続中  
児童福祉法改正前は、第2種自閉症児施設として、重度の自閉症児(主に強度の行動障害を示す児童)を対象に支援してきた為、近年社会的なニーズとしても高まりつつある、知的に軽度な発達障害児に対する支援に苦慮している現状がある。また、本人の問題のみならず、家庭環境(成育歴)や保護者自身も知的・精神障害を抱えているケースもみられ、トータル的な支援の必要性に迫られている。  
まずは、法人内の他事業所との交流研修や実習を通して、スーパービジョンを受ける中で支援技術の向上につなげる。また、外部の研修などにも積極的に参加をすすめ、幅広い視点を養っていきたい。

**3. 入所者の高齢化への対応**

- 4) ひかりの本体(そだて)改修、増築 ※平成30年度実施予定  
個室化とバリアフリー化のために、現在のそだて棟ユニット2・3を含めて南側に増築をする。35人分の居室(そだてグループ29名+α6名(短期入所その他)分)と食堂・

浴室・職員詰所を含む。2階建て。エレベーターも完備。

現在のひかりの（そだて）食堂は無くして、厨房を大きくする。そだて棟・こころ棟・生活介護棟へ食管車で運んで提供。

大浴室・小浴室も無くして、整理室を大きくする。

そだて棟ユニット1は療育ルームとして整備。ひかりの学園療育内容の見直しや、SVに使っていく。

プロムナードはそのまま残して、現在使っている用途（行事・お集まりの場など）のほか、利用者の健康維持のために、運動する場としても利用できるのではないかと。

ひかりの玄関は変わらず。

#### 5) ひかりの利用者グループ再編

今後を考えると下記A~Cの3グループが考えられる。状況により、毎年変化していくので、それに合わせての編成になってくると思われる。できれば、上記のそだて増改築後の建物がグループ分けに柔軟に対応できるものであることが望まれる。

A…現在の延長（健康維持）

B…要介護（高齢化）

C…日中活動充実（若い利用者）日中一時や生活介護利用者との合流も考えられる

#### 6) ひかりの支援員の研修（介護技術・メンタル・SV体制） ※継続中

高齢化に向けては、介護技術の研修や資格取得などはもちろんのこと、他の高齢施設職員の意見を聞き、研修や施設整備に繋げていく。

保護者や利用者自身が亡くなったり、それに向けて見守っていったりなどの、ひかりの職員が未だ経験していない事態に対する備えとしての研修や、そのストレスに対するメンタル面への研修なども取り入れていく。

日々の業務の中で、療育ルームなどを使い、こぐま学園のようなSVを受けるなどの研修も行っていく。

### 4. 「切れ目のない」地域支援サービスの拡充

#### ~~7) 児童発達支援センターの整備（相談支援の併設） ※実施済み~~

#### ~~8) のびろ利用定員の変更（現在50名→40名+短期併設10名） ※実施済み~~

#### 9) ひかりの「地域支援棟」の整備 ※平成30年度実施予定

地域療育支援の積極的展開として、「地域支援棟」を袖ヶ浦の敷地内に建設し、地域の方たちを受け入れていく。現在の日中一時や生活介護利用者でも、本体の空間を利用するのは、手狭になってきており、活動以外の利用者の過ごす場としてそこを利用する。地域から生活介護棟に登園、活動は本体の作業活動に合流、それ以外の昼食や余暇は生活介護棟で過ごし、そこから帰宅する。また、それには地域利用者への送迎の充実も急務となっている。

のびろ学園の利用者が、退所後地域に戻り、グループホームなどから日中活動のサービスを利用、といった支援体制の拡充にもつながる。

※法人研修（合宿）などへの利用も想定される。

#### 10) グループホームの移設及び増設

グループホームは、老朽化していることもあり、新たな建物の建設ないし取得（賃貸を含む）する。また今後、ひかりの学園の日中利用者及びうぐいす園利用者のニーズに合わせて、日中支援サービス型を含む新たなグループホームの設置も視野に入れていく。

#### ~~11) 袖ヶ浦市福祉作業所の受託 ※実施済み~~

12) ~~たのしみ中高生の放課後デイ実施~~ ※実施済み

放課後等デイサービス事業ウサギの利用者で小学校を卒業する年齢の児童が出てきて、中学になっても引き続き利用したいとの声があったため、利用対象者を中高生まで広げる。高校生まで広げる理由としては、将来的にひかりの学園きずなグループやうぐいす園の利用に繋げていくトータルケア構想の一環に位置付けるためである。

13) 袖ヶ浦市福祉作業所の指定管理更新

うぐいす園の指定管理は5年更新であり、平成32年度には最初の更新を迎える。現在の運営は、利用者・保護者から共に高評価を受けているので、引き続き指定管理を行いたい。

課題としては、就労継続B型利用人員の伸び悩みと漸増している生活介護の支援体制整備（特に作業療法士などパラメディック専門職の配置）をどのようにしていくかである。

14) 児童発達支援センターの機能拡充

増加する発達障害への早期療育ニーズに対応して、従来の児童発達支援機能(通所療育)に加え、インテークやアセスメント、アウトリーチを含む専門的相談機能及び機関連携やコンサルタント、施設支援指導事業などの地域支援機能を整備する。具体的には、専門的相談や地域支援を行い得る社会福祉士や言語聴覚士、作業療法士、公認心理師といった専門職を配置する

そのために、平成34年のたのしみ20周年を目途に、袖ヶ浦市からの「袖ヶ浦市療育支援事業」を含めた事業委託もしくは運営費助成による「公立化」を目指す。

15) 地域生活支援センターたのしみの再編成

平成31年度のひかりの地域支援棟竣工に伴い、従来の「地域生活支援センターたのしみ」から相談支援事業所を分離し、単独の事業所として地域支援棟内の専用室に移設し運営を行う。また「地域連携室」を発足し、将来的な展望として、地域生活支援拠点を整備する際の核となることを目指す。

残る障害児通所事業のヒツジとリス・ウサギについては、両者を合わせて「児童発達支援センターよろこび（仮称）」と呼称する。

16) 地域生活支援拠点の整備

「地域生活支援センターたのしみ」内の「地域連携室」を核に、地域生活支援拠点事業として、国の求める次の5つの機能について、地域の実情に応じた整備を行う。

- ① 相談
- ② 緊急時の受け入れ・対応
- ③ 体験の機会・場
- ④ 専門的人材の確保・養成
- ⑤ 地域の体制づくり

17) ひかりの学園短期入所の定員拡大

地域支援棟の整備に伴い、ひかりの学園短期入所枠を現在の併設2名から10名に拡大し、地域のニーズに応じていくと共にのびろ学園短期入所の利用者のうち成人を原則として移行させる。

また必要に応じ、地域生活支援拠点事業の機能として求められている「緊急時の受け入れ・対応」や「体験の機会・場」としても位置付けていく。

18) のびろ学園短期入所棟の整備

ひかりの学園短期入所枠の拡大に伴い、のびろ学園短期入所利用者の属性を原則として児童に絞っていく。それによって、知的に軽度な発達障害児等を含めた多様な短期入所ニ

ーズへ柔軟に対応すべく、小舎の専用棟を整備する。

[年次行動計画一覧]

年次	行 動 計 画	備考
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <del>「はやて棟」の用途変更</del></li> </ul>	
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <del>のびろ大規模修繕</del></li> <li>③ <del>のびろ支援員の研修</del></li> <li>⑥ <del>ひかりの支援員の研修</del></li> </ul>	<p>←単年度ではなく継続</p> <p>←単年度ではなく継続</p>
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ <del>「児童発達支援センター」の整備</del></li> <li>⑪ <del>袖ヶ浦市福祉作業所の受託</del></li> </ul>	<p>※ひかりの30周年事業</p>
平成28年度		
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧ <del>のびろ利用定員の変更</del></li> <li>⑫ <del>たのしみ中高生の放課後デイ実施</del></li> </ul>	<p>※のびろ生活介護廃止</p> <p>※法人50周年事業</p>
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ひかりの本体（そだて）改修、増築</li> <li>⑨ ひかりの「地域支援棟」の整備</li> </ul>	<p>※のびろ40周年事業</p>
平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ひかりの利用者グループ再編</li> <li>⑰ ひかりの学園短期入所の定員拡大</li> <li>⑮ 地域生活支援センターたのしみの再編成</li> </ul>	
平成32年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑬ 袖ヶ浦市福祉作業所の指定管理更新</li> <li>⑯ 地域生活支援拠点の整備</li> </ul>	
平成33年度	⑩ グループホームの移設または増設	
平成34年度	⑭ 児童発達支援センターの機能拡充	※たのしみ20周年事業
平成35年度	⑱ のびろ学園短期入所棟の整備	

## 29年度 年間行事等実施状況

項目 月	行 事		職員研修		職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月					11	運営会	12	消化訓練	18	労働衛生委員会	3	新人歓迎会
					25	厨房会議	20	ヒツジ避難訓練			27	情報セキュリティー委員会
					13	環境整備	27	夜間火災想定 (通報・消火・避難)				
5月					2	運営会	25	夜間火災想定 (通報・消火・避難)	16	人権擁護委員会		
					25	厨房会議	31	消化訓練	26	労働衛生委員会		
6月	15	のびろ保護者会	2	エピソード記述研修	5	運営会	13	ヒツジ避難訓練	13	労働衛生委員会	1	情報セキュリティー委員会
	29	ひかりの父母会	6	ケース研究発表会	8	のびろ全体会	23	消化訓練			23	広報委員会
					8	環境整備	29	夜間火災想定 (通報・消火・避難)				
					20	ひまわり会議						
					20	厨房会議						
7月	20	夏祭り	18	ケース研究発表会	6	環境整備	13	ヒツジ避難訓練	6	人権擁護委員会		
	27	すずめ外出	20	プール講習会	13	ひかりの全体会	27	夜間火災想定 (通報・消火・避難)	18	労働衛生委員会		
	28	めじろ外出			14	運営会	29	消化訓練				
	29	たのしみ夕涼み会			18	厨房会議						
8月	1	めじろ外出	4	全体研修会	1	運営会	15	日中火災想定 (通報・消火・避難)	29	労働安全衛生委員会	2	情報セキュリティー委員会
	3	すずめ外出	18	ケース研究発表会	8	厨房会議	27	消化訓練				
	8	すずめ外出	25	エピソード記述研修	10	環境整備						
	10	めじろ外出										
	17	めじろ外出										
	18	すずめ外出										
9月	11	こころバスハイク			5	運営会	21	ヒツジ避難訓練	7	一般健康診断	12	事故防止委員会
	17	嬉泉ふれあい祭り			7	環境整備	28	夜間火災想定 (通報・消火・避難)	13	生活習慣予防検診	21	研修係打合
	21	ひかりの 秋を楽しむ会			19	ひまわり会議			26	労働安全衛生委員会		
	25	～26こころ一泊旅行			19	厨房会議	29	消化訓練				





織図(嬉泉福祉交流センター[袖ヶ浦])

